

大阪府域の被害想定（人的被害・建物被害）の公表について

平成25年10月30日に「大阪府防災会議・第4回南海トラフ巨大地震災害対策等検討部会」において公表される、被害想定結果（人的被害・建物被害）の概要は以下のとおりである。

I. 被害想定ケース・府域

項目	検討条件		ケース数	備考
① 震度分布	陸側ケース（内閣府想定ケースより抽出）		1 ケース	府域に最大の被害が想定されるケース
② 津波波源 ③ 施設条件	波源：ケース4 / 施設条件：条件1 （内閣府想定ケースより抽出）		1 ケース	府域の浸水体積が最大となるケース・条件
地震火災	④ 季節・時間帯	冬18時	2 ケース	内閣府の公表結果から、地震火災による被害が最大となる「冬18時」 津波の人的被害のケースと整合
		夏12時		
	⑤ 風速別	1%超過確率風速	1 ケース	平均風速より大きい超過確率1%を選択
津波避難	⑥ 行動別	避難迅速化 ^{※1}	2 ケース	避難行動による効果をみるため
		早期避難率低 ^{※1}		
	⑦ 時間帯	夜間	2 ケース	避難が遅れる可能性のある夜間
昼間		大阪市内の人口が多い昼間		

※1

	避難行動別の比率		
	避難する		切迫避難あるいは 避難しない
	直接避難	用事後避難	
避難開始時間	発災5分後	発災15分後	津波到達後
避難迅速化	100%	0%	0%
早期避難率低	20%	50%	30%

（夜間（18時）については、避難開始をそれぞれ5分加算）

II. 建物被害・府域（全壊）【想定ケースのうち最大値を記載】

（単位：棟）

項目	条件・定義	内閣府公表 (H24.8.29)	大阪府・今回推計 (H25.10.30)		東南海・南海地震 大阪府推計(H19.3)	
			うち大阪府域	うち大阪府域	うち大阪府域	うち大阪府域
総数		344,300	179,153	78,921	24,515	8,532
液状化		16,000	71,091	38,248	2,169	8,528
揺れ		59,000	15,375	3,974	22,341	
津波		8,000	31,135	29,056	—	—
地震火災	冬18時 1%超過確率風速(5.3m/sec)	260,000	61,473	7,643	5	4
急傾斜地		100	79	0	—	—
参考	大阪府建物総数		2,530,162			

注) ビルや集合住宅は、1棟で計算

Ⅲ. 人的被害・府域【想定ケースのうち最大値を記載】

Ⅲ- i. 死者数

(単位：人)

項目	条件・定義	内閣府公表 (H24.8.29)	大阪府・今回推計 (H25.10.30)		東南海・南海地震 大阪府推計(H19.3)	
				うち大阪市域		うち市域
総数	《早期避難率が低い場合》	9,800	133,891	119,565	87	52
	《避難が迅速な場合》	5,900	8,806	8,097	87	52
揺れ [建物倒壊] (内、屋内収用物移動・転倒・屋内落下物)		3,000	735	198 ^{*2}	87	52
		(200)	(136)	(43)	(2)	不明
津波	早期避難率低 (内、堤防沈下等)	4,500	132,967	119,350 ^{*3}	—	—
	(内、津波)	—	(18,976)	(18,974 ^{*3})	—	—
	避難迅速化 (内、堤防沈下等)	—	(113,991)	(100,375 ^{*3})	—	—
	(内、津波)	—	7,882	7,882 ^{*3}	—	—
		—	(7,882)	(7,882) ^{*3}	—	—
	(内、津波)	—	(0)	(0) ^{*3}	—	—
地震火災		2,100	176	17 ^{*4}	0	0
急傾斜地		10	2	0	—	—
ブロック塀、自動販売機等の転倒、屋外落下物		300	11	2	—	—
参考	大阪府 夜間人口	—	8,865,245			
	大阪府 昼間人口	—	9,280,560			

※2 揺れによる死者数（大阪市域のみ）（ただし、屋内収用物移動・転倒・屋内落下物による者を除く）

区	都島区	東淀川区	東成区	生野区	旭区	城東区
死者数（人）	17	10	14	16	14	20

注) 死者数 10 人以上のみを記載

※3 避難の迅速化による津波からの被害の軽減（大阪市域のみ）

	早期避難率低の場合（冬 18 時）			避難迅速化の場合（冬 18 時）		
	死者数（人）			死者数（人）		
	合計	堤防沈下等	津波	合計	堤防沈下等	津波
北区	16,198	0	16,198	0	0	0
都島区	153	0	153	0	0	0
福島区	8,591	187	8,404	2	2	0
此花区	9,272	1,398	7,873	591	591	0
中央区	1	0	1	0	0	0
西区	20,245	413	19,833	38	38	0
港区	9,865	1,121	8,744	421	421	0
大正区	6,860	213	6,647	103	103	0
浪速区	1,258	414	845	308	308	0
西淀川区	19,725	12,978	6,746	5,665	5,665	0
淀川区	13,548	37	13,511	24	24	0
城東区	3,055	2,179	876	730	730	0
鶴見区	9	0	9	0	0	0
住之江区	5,032	25	5,006	0	0	0
住吉区	40	0	40	0	0	0
西成区	5,498	9	5,489	0	0	0
計	119,350	18,974	100,375	7,882	7,882	0

堤防沈下等による被害は、地震発生と朔望平均満潮時が重なる条件の下、津波による浸水が 30cm になるまでの間に、防潮堤の沈下等に伴い、河川からの溢水（いっすい）による浸水（30cm 以上）で発生すると想定されるもの。

※4 火災による死者数（大阪市域のみ）

区	都島区	東成区	生野区	旭区	城東区	住吉区	計
死者数（人）	1	2	4	6	3	1	17

Ⅲ－ⅱ．負傷者数

(単位：人)

項目	条件・定義	内閣府公表 (H24.8.29)	大阪府・今回推計 (H25.10.30)		東南海・南海地震 大阪府推計(H19.3)	
				うち市域		うち市域
総数	《早期避難率が低い場合》	—	99,142	53,313	19,626	9,745
	《避難が迅速な場合》	—	35,314	7,169	19,626	9,745
	揺れ〔建物倒壊〕 (内、屋内収容物移動・転倒・屋内落下物)	38,000 (11,000)	21,972 (8,542)	6,377 (2,743)	19,626 (1,213)	9,745 (不明)
津波	早期避難率低 (内、堤防沈下等)	冬18時 1,900	冬18時 63,945	46,261	—	—
	(内、津波)	冬18時 —	279	(279)	—	—
	避難迅速化 (内、堤防沈下等)	冬18時 1,900	63,666	(45,982)	—	—
	(内、津波)	冬18時 —	117	117	—	—
		冬18時 —	(117)	(117)	—	—
	地震火災	冬18時 1%超過確率風速(5.3m/sec) 16,000	3,526	552	0	0
	急傾斜地	冬18時 10	2	0	—	—
	ブロック塀、自動販売機等の転倒、屋外落下物	冬18時 9,700	1,155	123	—	—
参考	大阪府 夜間人口		8,865,245			
	大阪府 昼間人口		9,280,560			

Ⅲ－ⅲ．要救助者※5

	条件・定義	単位	南海トラフ巨大地震			東南海・南海地震 大阪府推計(H19.3)
			内閣府公表	大阪府今回推計		
				うち市域		
揺れによる建物被害に伴う要救助者	冬・18時	人	15,000	3,847※6	1,508	—
津波被害に伴う要救助者 (早期避難率低)	夏・12時	人	1,600	1,065,761※7	988,769	—

※5 要救助者

- ・揺れによる建物倒壊に伴う要救助者（閉じ込めによるもの）：木造・非木造毎の建物全壊状態から算出
- ・津波被害に伴う要救助者：津波最大浸水深よりも高い階に滞留する者を要救助者として算出

※6 揺れによる建物被害に伴う要救助者（大阪市域のみ）

区	北区	都島区	福島区	西区	淀川区	東淀川区	東成区	生野区	旭区	城東区	平野区
要救助者（人）	83	197	68	65	68	124	81	87	80	205	50

注）要救助者 50 人以上を記載

※7 津波被害に伴う要救助者（大阪市域のみ）

区	北区	都島区	福島区	此花区	中央区	西区	港区	大正区	浪速区
要救助者（人）	162,373	25,528	70,200	58,334	7,878	137,133	77,208	42,258	38,675

区	西淀川区	淀川区	旭区	城東区	鶴見区	住之江区	住吉区	西成区	計
要救助者（人）	60,799	124,395	2,015	41,851	3,609	86,175	1,282	49,056	988,769